第78回 梧桐会総会開催

5月10日(日)
於・大崎高校

梧桐会報

第 61 号

平成27年４月１日発行
発行所
梧桐会
事務局・東京都大田区新蒲田
3-18-1-507　渡部良彦方
TEL/FAX　03(3730)8117
編集人　渡部良彦
発行人　川村　治
印刷所　㈱英　進

ご挨拶

梧桐会会長　川　村　　治

今年は、桜の咲く時期が例年より早く、このまま暖かくなるのかと予想されましたが、開花の後に降雪と成るなど、寒暖の差が激しい春となりました。

梧桐会会員の皆様方には如何お過ごしでしょうか。

日頃より同窓会の活動に対し、大きなご理解・ご支援を頂戴しておりますことに厚く感謝申し上げます。

本年も同窓会総会を五月十日（日）母の日、例年通り大崎高校にて第七八回の総会として開催致します。会員の皆様方には是非、同級・同期・先輩・後輩をお誘いの上多数ご出席下さいます事を心より御願い申し上げます。

さて、今年も二五四名の卒業生が新しい梧桐会員として入会され、今日では二万人を超える多人数の組織となっております。

梧桐会は、会員相互の親睦交流と、併せて母校の発展に協力していく事を目的として、昭和十二年に設立され今年で七十八年めを迎える事と成りました。

同窓会幹事も以前は毎年の卒業生（新入会員）から指名にてお願いをしておりましたが、近年は入会のお願いのみにて、幹事依頼はとても出来ない状態となっております。毎年の総会開催が準備人員の不足にて大変難儀している状態です。

只今は、新たに幹事をお引き受け頂ける方々を募集しております。特に三十代、四十代の会員の方で「少し位なら同窓会活動に協力あげようか」と思われ幹事をお引き受け願えれば大変に有難く存知ます。

是非、同級同期の方もお誘い頂き、同窓会事務局までメール・ＦＡＸ等にて連絡を頂きたく、宜しく御願い申し上げます。

新しい幹事の方も交え、これからの同窓会の有り方や進め方（総会の開催場所や日時等）を検討し、次の世代に繋げて行きたいと思っております。

さて梧桐会の運営費用は新入会員から戴く、お一人七千円の終身会費と会員の方々からのご寄付によって賄われておりますが、会員数は毎年確実に増加致しますので、梧桐会報の発行部数や郵送の費用が増え続ける訳で有ります。郵便物の局持ち込みにより郵送料を軽減したり、総会に掛ける費用の削減を、幹事一人々々に総会当日を含め準備、手助けをしてもらう事で計っているのが現状です。

同窓会総会を、毎年行っている都立高校同窓会は数少ないと聞いておりますし、又、毎年総会を行うことに誇りを持ちながら、梧桐会の更なる充実、発展の為に努力をして参りたいと思います。

会員の皆様方の同窓会に対するご意見・ご要望・お考えをお聞かせ頂ければ幸いです。又、同窓会のホームページもぜひご覧戴き、お声をお寄せ頂きます事を御願い申しあげます。

今後も大崎高校は変化・成長し続けます。

都立大崎高等学校長
白　井　克　昌

この4月に赴任してまいりました校長の白井克昌です。同窓会の皆様におかれましては、前任の牛来校長先生と同様によろしくお願いいたします。

簡単な自己紹介ですが、これまで教育行政で10年間、都の教育施策に関わり都立高校改革を推進してきました。昨年度までは、東京都教育庁指導部において、体育健康教育担当課長として、子供の体力向上施策の推進や部活動の振興と競技力向上、オリンピック・パラリンピック教育の推進等に努めてまいりました。

大崎高校は、この3年間で、大変大きく変化・成長してきました。特に、防災教育に取り組むことで、地域との絆が生まれ、学校に対する評価が一段と高まりました。そうしたことが生徒にもよい影響が出て来て、教育活動全体に良い影響を及ぼし、学校全体の活性化につながっていると伺っています。防災教育は、都立高校でＮＯ１かと思います。

私は、東日本大震災が発生した直後の5月、岩手県大槌町教育委員会に3週間派遣されました。被災地に到着した時の悲惨な状況はいまでも脳裏に焼き付いています。そういったことから防災教育の取組の重要性を実感していますので、力を入れていきたいと考えています。

今後とも、平成23年度に１００周年を迎えた大崎高校の歴史と良き伝統を受け継ぎながら、新たな前進に向けて着実に歩んでまいります。本校がこれまで取り組んできた生活指導、学習指導、進路指導、部活動、学校行事等をさらに深化させ、地域住民、都民から期待される学校づくりを目指してまいります。

具体的には、「時を守り、場を清め、礼を正し、公共を意識する。」のスローガンを継続させ、遅刻防止、茶髪の改善、清掃・美化の徹底、挨拶の励行など、生活指導の充実に向け全校あげて取り組み社会性を育んでまいります。

また、基礎学力を重視した学力の向上、補習・講習や、大学進学に向けた特進講座の実施、奉仕体験活動を通した道徳心や道徳的実践力の育成、部活動等の文化・スポーツ活動の活性化、オーストラリアでの語学研修、長い距離を歩く強歩遠足などの学校行事の充実に取り組んでまいります。

そのため、全教職員が一丸となり、きめ細やかな指導を心がけ、生徒一人一人が社会的自立に向けて成長できるよう、卒業まで心を込めて育ててまいります。生徒には、かけがえのない高校生活を本校で学ぶことにより、豊かな感性と知性を磨き、社会貢献を担えるたくましい人間に成長してほしいと願っております。

今後とも同窓会の皆様の力強いご支援を末永くお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

第７８回　梧桐会総会

日　　時　５月１０日（日）母の日
　　１２時３０分（受付開始）
　　１３時～１６時
会　　場　大崎高校　１階食堂
会　　費　２，０００円（新卒者　無料）
　　当日会場でお支払いください。
プログラム　会長の挨拶・学校長の挨拶
　　会務報告・会計報告・その他

総会が始まる前に、現在の大崎高校の様子を紹介したＤＶＤを放映する予定ですので、お早めにお集まりください。

※当日、お手伝いをしていただける方がいらっしゃいましたら、１０時３０分までに会場にお集まりください。よろしくお願いします。

	2012	2013	2013
早慶上智 MARCH	2	6	9
成成獨國武明学	1	1	0
日東駒専	6	8	18
大東亜帝国	9	17	20

年度	大学短大進学率	専門・就職	計
2006	39%	45%	84%
2007	48%	39%	87%
2008	59%	18%	77%
2009	58%	21%	79%
2010	47%	36%	82%
2011	58%	32%	90%
2012	52%	31%	83%
2013	52%	39%	91%
2014	46%	46%	92%

平成２６度合格者一覧　　平成 27 年３月１８日現在

大学	学部	男子	女子
亜細亜大学	経営		1
跡見学園女子大学	文		2
江戸川大学	社会	1	
桜美林大学	リベラルアーツ	1	
神奈川工科大学	創造工学	1	
神奈川大学	経済、法、人間関係、外国語、工	6	5
鎌倉女子大学	児童		1
川村学園女子大学	生活創造		1
関東学院大学	経済、理工	10	1
杏林大学	総合政策	1	
恵泉女学園大学	人文		1
工学院大学	情報		1
国士舘大学	経営、政経、法、理工	4	2
子ども教育宝仙大学	こども教育		1
駒澤女子大学	心理		1
駒澤大学	経済、法	5	1
産業能率大学	総合福祉	1	
淑徳大学	文		1
湘南工科大学	工	1	
尚美学園大学	芸術情報		1
女子栄養大学	栄養二部		1
杉野服飾大学	服飾	1	
聖徳大学	文、児童、人間栄養		5
専修大学	経済、経営、法、商	4	1
洗足学園音楽大学	音楽		1
大正大学	人間	1	1
大東文化大学	外国語、環境創造	2	
高千穂大学	人間科学、経営	2	1
拓殖大学	商、外国語、法	3	
玉川大学	農	1	
鶴見大学	文	1	1
帝京科学大学	生命環境、こども	1	1
帝京大学	文、経済、薬、医療技術	6	1
帝京平成大学	医療メディカル		1
東海大学	情報通信、工、教養	4	
東京医療保健大学	看護		1
東京家政学院大学	現代生活		1
東京女子体育大学	体育		1
東京成徳大学	経営	1	1
東京電機大学	情報環境、工	1	1
東京福祉大学	社会福祉	1	
東洋学園大学	グローバルコミュニケーション、人間科学	5	
東洋大学	文、国際地域	2	
日本女子体育大学	体育		1
日本大学	経済、法、文理、理工	4	1
文化学園大学	現代文化		1
文京学院大学	外国語		2
法政大学	経営、経済、人間環境、キャリアデザイン	3	1
武蔵野大学	薬、人間科学、法	3	2
明海大学	外国語		1
明治大学	政経、商、経営、情報コミュニケーション	4	
目白大学	経営、社会、人間	3	1
横浜桐蔭大学	法	1	
横浜美術大学	美術		1
横浜薬科大学	薬	1	
立教大学	社会	1	
立正大学	経済、文、仏教	4	1
了徳寺大学	健康科学		
和光大学	総合文化、経済経営		
５９大学	合計数	92	53

短期大学	専攻	男子	女子
IPU・環太平洋大学短期大学部	人間発達		1
有明教育芸術短期大学	こども教育		1
実践女子大学短期大学部	英語コミュニケーション、日本語コミュニケーション		2
淑徳短期大学	子ども		1
聖徳大学短期大学部	保育		1
洗足こども短期大学	幼児教育		3
目白大学短期大学部	生活科学		1
７短期大学	合計数		10
	専門学校	38	59
	就職	15	5

大崎高校野球部と私

森　元繁（昭和35年度卒）

大崎高校野球部が平成25年（2013年）に軟式から硬式に変わったことは、1学年上の川添和夫さん（昭和34年度の野球部主将）からお聞きし、平成25年中に知っていました。

私が2年か3年のときに親しくしていた当事の生徒会長（須藤興一さん）の協力を得て臨時生徒総会を開催し、野球部の硬式化を決議しましたが、顧問の小林先生の下級生部員への説得や圧力（?）、そして最終的には教職員会の反対で硬式化計画はあえなく頓挫してしまいました。そんな経緯があり、今回の硬式化には一入の思いがあります。

平成26年4月1日発行の「梧桐会報」で野球部の特集記事を読み、道具類が不足ということを知り、野球部OBの一人として僭越ながら練習球5ダースを寄付させて頂きました。また同号には、「57年前の大崎高校野球部」と題する昭和33年度卒で元主将、投手の遠山勉さんの記事も掲載されていました。

遠山先輩は、私が1年生のときに3年生で主将でした。その後川添先輩のお誘いで、第96回全国高等学校野球選手権大会、東東京大会の大崎高校の初戦、対芝浦工大高の試合を駒沢球場で応援観戦しました。残念ながら初戦敗退でしたが、なかなかの好試合でした。当初は遠山先輩も観戦の予定でしたが、雨天のため初戦が順延されたため、当日は都合がつかず、残念ながら駒沢球場には来られませんでした。私と同期の井関精二さん（昭和35年度の主将）も観戦されたので、遠山先輩が来られていたら、昭和33、34、35年度の主将がスタンドに勢揃いのはずでした。

遠山先輩には後日電話でお話しをすることができ、五十数年ぶりに元気なお声を懐かしく聞くことが出来ました。

遠山先輩は、「57年前の大崎高校野球部」中で2年生のとき（私の入学する1年前）に、ブロック優勝を成し遂げ都大会に進出し、「上井草球場」で試合を行ったと記しております。私自身は在校、在部中の3年間で1度も上井草球場で試合をした記憶はありません。1年のときに、健康上か何かの理由で一時練習や試合に出られないときがあり、その時にチームは上井草でプレーしたとかの話を聞いたような、聞かなかったような感じで、定かな記憶はありません。

私たちの現役時代のブロック大会での最大の強敵は都立第一商業高校でした。「一生（一商）に一度は勝とう」を合言葉に、対戦しましたが、2度か3度の対戦は全敗でした。また、試合では野次は付きものですが、言葉を自由に発声できない選手たちのチームとの静かな練習試合も印象に残っています。

練習で一番印象に残っていることは、鈴木立身さんというとても情熱的で怖い（?）OB先輩の指導でした。特に守備や走塁、スライディングの指導は厳しいものでした。一度ご立腹されて指導途中で帰宅されてしまい、後日（だったと思いますが）井関さんと（川添先輩も一緒だったかも知れません）ご自宅へ謝罪に行ったことも、今ではいい思い出となっています。ご健在でしたら、ぜひもう一度お会いしたい先輩の一人です。

私は、昭和36年4月に東京外国語大学インドネシア語科の正式な学生になる前の3月下旬には東京外国語大硬式野球部の一員としてグラウンドで練習していました。ユニフォームを学生服に着替え、グラウンドから第3次の面接（試験）会場の教室へ、「これで森が3次で不合格になったら面白いな」との上級生たちの軽口（私には声援と聞こえました）に送られ、出向いたことも懐かしい思い出として残っています。

前列左から３番目が顧問の小林元亨先生、左端が遠山勉さん、小林先生の左後が私、森元繁、私の右後が川添和夫さん、井関精二さんは何かの都合でこの写真には写っていません。

外語大の野球部では、鈴木先輩の厳しいご指導のお陰で、守備力と走塁、スライディングの技術が認められ、1年の春季リーグ戦からレギュラー遊撃手として3年の秋季リーグ戦まで硬式球で思う存分プレーすることが出来ました。

2年から3年になるときの春合宿では念願の「上井草球場」も使用することができ、感無量でした。もっとも春休み中で帰省中やアルバイトで参加できない部員も多く、まともな練習は出来ず、せっかくの上井草球場も「宝のもちぐされ」といった感じで、上げ雲雀の鳴き声をのんびりと聞いていた記憶が強く残っています。

東京外国語大学の野球部は、東京新大学リーグに属しており、1～4部まで各6校、計24校のチームがあります。外語大は現在3部で、数年に1度2部に上がったり、4部に下がったりしています。1部には創価大等の全国的に見てもレベルの高い学校も多く1部への昇格は夢のまた夢といったところでしょうか。

現在外語大の学生は、女子学生が7割前後を占める「女子大」状態ですので、10名以上の部員を集めることも一苦労のようです。大崎高校の野球部員諸君もしっかり勉強して、ぜひ外語大の野球部に入って活躍してください。

私たちの現役時代は、2部までの12校しか加盟校はなく、外語大は2部優勝、1部最下位の繰り返しで、5シーズン連続で入替戦をいていました。当時は創価大等の強豪校は未加盟で、現在も1部で活躍しているのは東京学芸大ぐらいです。

私は現在東京外国語大学硬式野球部OB会の会長をしており、昨年1度橋本康徳監督にお会いし、外語大のグラウンドにも足を運んで頂きました。外語大野球部の主務（マネージャー）とも話合って頂き、練習試合や合同練習等で両校の野球部が協力で出来ればと思っていましたが、現在まではお互いの日程の都合等で実現には至っていません。近いうちに何とか実現出来ればと思っています。

余談ですが、私は趣味でフォークダンスもやっています。私たちが在校中は、大崎高校はフォークダンスでもかなり有名な（?）高校だったと記憶しています。当時の在校生は、1学年女子200名前後、男子100名弱といった感じで、男子は女子学生に圧倒されて、運動部の男子の多くは逃げ回っていてフォークダンスは敬遠していた（本心は踊りたかったのかも知れませんが）ように記憶しています。私自身も運動会で1度、卒業式後の謝恩会で1度踊ったくらいしか記憶にありません。

それの反動なのか、平成5年（1993年）に「ちょうじ会」というフォークダンス・サークルの立ち上げに参画し、現在は会長として台東区内の公共施設を使って週1回、火曜日の午後2～4時に踊っています。中高年者が多く、年々会員数も減っていますが、何とか奮闘しています。ご興味のある方はぜひご連絡ください。

（梧桐会事務局へＦＡＸもしくはメールでお願いします。取り次ぎます）

ボールカンパ

昨年7月12日、朝から焼き付く日差しの駒沢球場1塁側スタンドに、私たち昭和33年度卒業同期いちご会の老OB男女二十数人が陣取り、「黄色くはない」声を振り絞りました。全国高校野球選手権東東京予選の初戦をたたかう、母校硬式野球部の応援です。

チャンスに1発が続かず芝浦工大高に惜敗。でも創部2年目と思えぬ立派な試合展開に皆、満足でした。「この暑い中、なぜ?」と、同期の義理でしぶしぶ参加した人もいましたが、ひたむきに投げ打ち走る選手の姿を観て、試合後に悔し涙を拭う女子マネジャーたちを目にするうち次第に感動が込み上げ、「スタンドで校歌を歌うのもいいもんだよ」と気持ちを改めていました。

球児と老OBのそんな連帯の夏――私たちは「ボールカンパ袋」を参加者の間で回しました。硬式に生まれ変わって間もない野球部はまだ予算も同窓会の寄付も十分でなく、バッティングマシンはおろか練習用具が慢性的に不足していると聞いていました。とりわけボールは、土のグラウンドがないためすぐ摩滅して使えなくなってしまうのだそうです。

硬式野球部が誕生したことで、いつか甲子園のセンターポールに母校の旗が掲げられる日が来るかもしれない。そんな夢を卒業生たちも持てるようになりました。遠い夢でも、膨らませば元気をもらえる。ありがとう――カンパは、軟式しかなかった古き昭和のOBたちのお礼の気持ちでもあります。袋に署名し思い思いに投じた額は、練習ボールをインターネット通販で6ダースほど買える額に達しました。

また、今年3月18日に南青山で開いた同期会の席でもカンパを呼びかけ、約4ダース分が集まりました。カンパはこれで終了するわけではなく、集まる機会があれば続けます。野球部OBや、他の卒業期の皆さんに参考にしていただければと思います。

夏の大会が迫ります。東西東京大会の開会式が7月4日（土）に神宮球場で行われます。私は今年もスタンドから、創部3年目の諸君の入場行進の雄姿をカメラに収めるつもりです。3年続けて神宮へ足を運ぶことになりますが、元気でいる限りOBと野球部との架け橋になれればと願っております。

（昭和33年度卒　織田邦彦）

創部2年目、野球部を励ましに球場へ行こう…

いちごOBのロマンが新聞に紹介されました

～ 7月9日付け朝日新聞「第２東京版」～

創部2年目　OBの期待熱く

11日初戦の大崎　「応援に行く会」結成

野球部創部を伝える同窓会報と応援の呼びかけ文を手にする織田邦彦さん

「母校の試合をそろって応援しましょう」。学校創立から100年以上の歴史がありながら、長く硬式野球部のなかった大崎（品川区）。創部2年目で迎える今夏はOBの熱も高まっている。

同校はグラウンドが狭いことや指導者がいなかったことで、軟式野球部はあるものの硬式野球部はなかった。1959年卒業の織田邦彦さん(74)は「この世代の最大の娯楽は野球。毎年夏は周囲が母校野球部の話をする中で、その輪に入れず肩身の狭い思いもした」と話す。

2013年に念願の硬式野球部ができ、昨夏は応援にも駆けつけた。現役生徒や選手の保護者が声援を送る一方で、創部を知らない人も多く、OBの姿はほとんどなかったという。

織田さんを始め59年卒業の同窓生6人が呼びかけ人となり「大崎野球部を応援に行く会」を立ち上げた。同期生を中心に100人以上に手紙やメールで応援を呼びかけ、今夏の初戦にはOB約30人が集まる見込みだ。練習の用具不足に悩む後輩のため、ボール購入のための募金も呼びかける。

大崎の橋本康徳監督は「非常にありがたい。OBの方にとって念願の野球部というのは選手もよく知っていて、声援は励みになる」と話す。

織田さんは「後輩たちが一生懸命やっている姿に勇気づけられる。OBにも甲子園という目標ができてとてもうれしい」と期待を寄せる。初戦は11日午前10時から都営駒沢球場で予定されている。（加藤勇介）

宮
田　003 000 0|3
西南　100 310 5|10
（7回コールド）

第96回　全国高校野球選手権　東・西 東京大会　主催／朝日新聞社・都高野連

8日は神宮球場で東大会の1試合があった。今大会初めて夏の強い日差しが照りつけるなか、試合はシーソーゲームに。中盤以降打線のつながった葛西南が3年ぶりの勝利を収めた。

辞めた　7回裏2死

速報は熱球ダイヤル
東京大会速報
0570・01・7289
→東東京「14＃」を押す
→西東京「15＃」を押す

⇒ 2014年7月9日付け 朝日新聞 第２東京版 切り抜き

「ネットのネット裏」応援席へ戻る ⇒ ◆

梧桐会報第60号が2014年７月９日、朝日新聞で紹介されました。
（いちご会ＨＰから。一部加工し、掲載しました）

寄付のお願い

梧桐会の運営は、卒業生の終身会費によってまかなわれています。その中から梧桐会報の発行、郵送料（これが大半を占めます）、総会などに使われています。昨年４月から消費税も８％となり、そのため郵送料等も値上げとなり、今後の会の運営にも影響してきます。
つきましては会員の皆様方にご寄付を頂戴したいと存じます。同封のお名前の入った払込取扱票をご利用いただき、最寄りの郵便局にて払い込みをお願いします。金額はお気持ちで結構です。宜しくお願い致します。また、部活動へのご支援もお願いしたいと存じますので、併せましてよろしくお願いいたします。

星野元校長先生　瑞宝小綬章受章

大崎高校第十九代の校長星野佳正先生が、平成26年度秋の叙勲において「瑞宝小綬章」を受章されまして、お祝いの会が本年二月にスクワール麹町にて開催され、同窓会会長が同窓会を代表して出席致しました。

星野先生は、平成十二年から平成十六年まで大崎高校に校長として在職。この間、全国定時制通信高等学校理事長や東京都公立高等学校協会教育課程委員長等を歴任され、その功績が認められてこの度の受章となりました。

お祝いの会当日には、星野校長時代の平田晃先生や大崎会の岩野会長も出席され、大変和やかな会となりました。発起人である本校元教諭の現東京都定通教育振興会会長安井幸生先生が祝辞を述べられ、星野先生からは受章の席で、受章者を代表して天皇陛下に直に受章御礼のご挨拶をした旨のお話が有りました。

ペーパージオラマ部がテレビに出演しました！

東京都立大崎高等学校
ぶらり途中下車の旅に出演
ペーパージオラマ部

日本テレビ『ぶらり途中下車の旅』に本校ペーパージオラマ部が出演しました。
元力士の舞の海さんが、大崎高校を訪れ、昨年８月に行われた全国高等学校鉄道模型コンテストでの１畳レイアウト部門　最優秀賞を受賞したスイスのジオラマや、同モジュール部門　理事長特別賞を受賞した５０年前の銀座を再現したジオラマなどを見て、驚きの声をあげていました。

放映日時　：　平成２７年３月７日（土）
　　午前９時２５分から１０時３０分まで
放送局　　：　日本テレビ
＊番組で取り上げられたジオラマの展示について
スイスのジオラマ
　３月１１日（水）より在日スイス大使館で展示開始
５０年前の銀座を再現したジオラマ
　３月　６日（金）より銀座通郵便局で展示再開

還暦同期会の報告

2014年10月25日（土）　メルパルク東京（浜松町）

古　見　演　良（昭和47年度卒）

１９７３年卒業（昭和47年度卒）の同期会「大崎高校還暦同期会１９７０」を開催しました。１９７３年卒（１９７０年入学）は約３９０名。卒業から42年を経ていますが、20名の幹事で同期の居所を探して２８０名を特定。参加者は１２８名でした。40年を超えての同期会としては盛況と思います。

じつはこの同期会には前身があり、２０００年に第一回「大崎高校同期会１９７０」、２００４年に第二回が行われました。１９７３年卒業ですが、後ろ向きで過去を想う会ではなく「今までも仲間でこれからも仲間の集まり」と想定しました。そして、私たちが出会う、入学の１９７０年に意味があり、会の名称も「同窓会」ではなく「同期会」で、「大崎高校同期会１９７０」としました。それは少人数の幹事で行われ。同期の居所特定も少なく、第一回38名。第二回77名の小規模な集まりでした。それでも、この同期会を機にほとんどのクラスで「クラス会」や「みんなで旅行」などが行われたのは嬉しいかぎりです。

今回、集まった仲間は60歳で「昔の面影も何所へやら…」な再会でしたが、今は年齢×０・８が実年齢。みんなの生き生きとした表情が嬉しかった。

還暦同期会を終えて

青嶋　みどり（昭和47年度卒）

同期会の発端は昨年５月に初めて開催した私の３Ｆのクラス会の席で「祝！還暦同期会」の案が出て、数人で名寄せ作業を開始しました。

私が以前購入していた「平成15年版梧桐会名簿」と卒業アルバム、10年前に有志70余名が集まった際の主幹事古見君が作成した名簿を主にして、つながっている友人を探し、卒業時のご実家へ電話やはがきを出したり、・・・中学同窓だったりした方は、実家へ歩いて訪問したりｅｔｃ.

そうこうするうちに時々クラス会をしていたらしいクラスの幹事さんが分かり把握していた名簿がみつかったり・・・（今のご時勢個人情報漏洩が厳しいのでもどかしい事も多々ありました。）

その後は各クラス2～3名の有志幹事を決めて、なるべくクラス単位で報告集計を慮りました。８月に返信月はがきを出し回収し、出席者を固めることができました。

10月に開催するまでに月１回は、ほぼ全員20名の幹事が飲食店（酒場ですね・・・笑）に集まって宴会交じりで決めて行き、会の前後はきゅりあん・大田区民プラザ等の会議室（４０００～８０００円）を借りて各自持参のお茶だけで、まじめに報告・検討。会場予約・料理・写真分担や当日の案内・受付・司会・備品の購入など決めました。

全般の経理（簿記・仕訳帳・現金出納帳・領収書管理）は私で、当日は会費１万円、二次会出席者はプラス３０００円のお金の計算は銀行員の幹事が担当し、現金管理・支払いは私と銀行員さんと主幹事瀧沢君とで行いました。

事前に予約代金などを支払わなくてはならないこともあったので、幹事からは１ヶ月前に１万円集めていて、それらを写真屋・印刷・文房具・会議室使用料等にあてました。

結果的に名寄せ２５０余名、一次会出席１２０余名で盛況に終えることができました。１００人位と見込んでたので徴収費用が若干残ったものですから、大崎高校の校舎をプリントしたクオカード（１０００円）を作成し、12月24日クリスマスに一次会出席者宅に梧桐会寄付の文言も盛り込んだ挨拶状と共に発送して、全ての残務が終了致しました。

少し残念だったのは一次会は、私を含めた幹事10名程は、飲食もままならず、旧友との会話もほとんどできなかったことです。

今後はもうないとは思いますが、当日１５０万円ほどの集計や支払いは、事前にクラスで○時○時と閉めて計算、集計後私達に届けるという方法で、クラス単位で受付を設営したのですが、遅れてくる人たちがいてまちまちになってしまったり、数名の幹事はお酒で陽気に？なってしまって氏名や金額記入が統一されなくなったりで（笑）・・・

・・・欠席者にはある程度返金を決めておいて、１ヶ月前位に口座へ振り込む方法をとったほうが良かったのでは？・・・などと、個人的には思った次第です。

最終的には大勢の方が集まってくれて、会について喜んでくれて感謝の言葉なども賜ることができました。

幹事同士も何度も会ううちに親密感が増して絆が生まれ・・・と、終り良ければ全てよしで素晴らしい経験ができたと感謝しております。

昭和４１年度卒の有志同期会

中村和夫・生駒勇美（昭和41年度卒）

昭和41年度の卒業生では毎年5月に行われる梧桐会の総会以外に時折、有志による同期会を開催して親交を深めています。

お互いが共有した高校時代の懐かしい時間を思い出しながら、健康や趣味の話、知っているとお得な情報、おもしろい情報・・・など、有意義で楽しい「情報交換会」をしています。

有志同期会は回を重ねるごとに、現役時代の社会的地位やプライドを脱いだ気心の知れたメンバーが定着し、お互いの有意義な情報を持ち寄り、皆さんと共有することで、より豊かな生活を志しています。

この1年間で大きな有志同期会は5回行いましたが、このほかにも随時、気の合ったグループ同士でも桜見物会や飲み会、ゴルフコンペなどで旧交を温めています。

（1）毎年、母の日に開催される「梧桐会総会」では、いつも十分な歓談時間が取れないため、昨年5月11日（日）の午前中には、大田区にある洗足池公園の新緑の中を散策しました。

日蓮上人の袈裟掛けの松や勝海舟夫妻の墓所、西郷隆盛の留魂祠・詩碑、桜の名所「さくら山」などを8名で巡りました。洗足池駅近くで「お茶会」をしたのち、運動のために母校がある戸越公園まで歩いて行きました。

（2）8月17日（日）には、江東区深川にある富岡八幡宮の3年に一度の大例祭を見学しました。

富岡八幡宮は大相撲発祥の地としても知られており、例年は子供神輿で小規模ですが、この日の神輿は55基もありました。

一番の見所は永代橋付近で、間近に多くの神輿の大きさを感じながら、猛暑の中を練り歩く勇壮な担ぎ姿を見学しました。

また、随所では神輿にお清めの「水掛け」が行われ、その迫力と豪快さに圧倒されました。

どこも大変な人混みでしたが、熱中症に注意しながら5名が参加しました。

（3）「敬老の日」の9月15日（月）には、有志5名で品川水族館を訪れ、童心に返ってイルカやアシカのショーなどを見学しました。当日はシルバー割引で格安に入館できました。

近くの蕎麦屋で「昼食会」を行い、帰路には大森駅近くの喫茶店でいろいろな情報の交換をして楽しい時間を過ごしました。

（4）10月13日（月）には皇居東御苑（江戸城跡）の見学と昼食会を行いました。大型の台風19号の接近で影響が心配されましたが、幸い小雨だけで8名が参加しました。

皇居東御苑の見学後は、リニューアルされた東京駅やＫＩＴＴＥビルなどを廻り、有楽町駅前のレストランで「昼食会」をしました。東京駅近隣には江戸時代から昭和までの歴史的な文化遺産が多く存在し、新発見もありました。また、解散後は有志で銀座界隈の散策も楽しみました。

（5）今年の2月15日（日）には新春の有志同期会として、上野近隣の散策と湯島天満宮（神社）の観梅をしました。

東京近郊に住んでいると、敢えて上野あたりをじっくり散策する機会に恵まれませんが、上野にも歴史的な文化遺産が沢山あります。

ＮＨＫの人気番組、「ブラタモリ」よろしく、12名で名所巡りをしました。

上野公園では、時の鐘、清水観音堂、東照宮、五重塔などを見学し、鴎外荘、不忍池、弁天堂を経由して、メインの「旧岩崎庭園」に向かいました。

「旧岩崎庭園」では、ガイドさんの丁寧な説明に聞き入り、庭園の由来や文化財の建造物を詳細に見て廻りました。

いつもの視点を変えて見ると、以外と新鮮な情報に接することができ、好奇心さえあれば楽しみも倍増します。

上野公園（上）　旧岩崎庭園（下）

上野での昼食会後は湯島天神（天満宮）で梅を鑑賞しましたが、受験時期と重なり、大変な人混みでした。2次会は不忍池近くのファミレスで歓談し、その後は有志ごとに飲み会や昭和の雰囲気が漂うアメ横商店街を散策しました。

それぞれの会では集合記念写真を撮影していますので、思い出の一駒になったことと思います。有志同期会には遠路から参加される方もいますので、リーズナブルな費用で皆さんが楽しめ、有意義な情報交換ができるような企画を毎回、目指しています。

なお、各イベントのスナップ写真は毎回、オンラインアルバムに掲載してパソコンやスマホからも閲覧できるようにしています。

60歳代は子供の養育も一段落し、平均寿命が伸びて初老でも高齢者とは言われたくない、まだまだ健康で元気に活動している方も多い世代です。

定年を過ぎてからは、時間や備えは充分なので好奇心次第では人生を好き勝手に楽しむのには一番の年代です。

従って、『喜寿』の77歳や『米寿』の88歳になぞらえ、66歳を『楽寿』と命名したいと勝手に思っています。

これからは日増しに暖かくなりますが、健康には留意されてお元気にお過ごし下さい。

なお、今年5月10日（日）の「母の日」の午後には恒例の大崎高校同窓会『梧桐会総会』が母校で開催されますのでお会いしましょう。

教職員の転退

転　出

牛来峯聡（校長・数学）　町田高校校長
西井輝男（国語）　退職
山本友美子（国語）　拝島高校
影山大翔（国語）　八丈高校
福島和哲（数学）　神代高校
北川寿郎（化学）　調布北高校
米澤　伸（英語）　足立東高校
松本麻子（英語）　日本橋高校
梅沢正樹（保健体育）　矢口特別支援
茂呂有花（保健体育）　つばさ総合高校
中山　翼（英語）　中学校へ
未吉眞須美（国語）　九段中等へ
斎藤晴子（公民）　産休代替教員終了

転　入

白井克昌（校長・保健体育）　都教育委員会
原澤直貴（国語）　新規採用
太島　浩（国語）　桜町高校
新妻文絵（国語）　園芸高校
澤本和憲（数学）　荒川商業高校
松本浩一（化学）　飛鳥高校
高橋　薫（英語）　野津田高校
佐藤玲未（英語）　新規採用
吉岡香子（保健体育）　六郷工科高校
中島綵恵（保健体育）　一橋高校
荒川基幸（英語）　新規採用　大田桜台高校

再　会

都立大崎高等学校教諭
湯川　泉
（昭和54年度卒）

会員だより

平成26年5月11日（日）「母の日」、「梧桐会」同窓会にて旧1年B組・2年D組・3年C組の仲間が久しぶりに顔を合わせました。なぜ1年から3年までのクラスを一堂に並べたかと申しますと、我々時代の大崎高校は今とは違い、3年までクラス替えがなく、卒業まで同じメンバーでした。

我がクラスは大崎高校生時代それなりにまとまっており、とっても思いで深い高校生活を過ごすことができました。ところが卒業後、身近な仲間達同志ではたまに顔を合わすことはあちらこちらであったようですが、一堂が会する機会がなかなか持てず思案しておりました。

そして、平成21年の教職員人事異動で偶然にもこの私が大崎高校に着任することとなりました。早速同窓会に卒業生と教職員の一員という立場で参加させていただき、何とかあの仲間たちとこの大崎高校で再会できないものかと考えました。

そのような中、同窓会では柔道部の先輩、中村さんの同期が毎年20数名出席していることを知り、思い切って仲間に連絡をし、我々もやってみないかということになりました。

まずは昨年の3月に白濱君の経営しているレストラン「北越」でミニ同窓会を行い、そこから横の連絡を取り合いました。

そして同窓会当日、卒業から36年目にして当時の仲間たちと再会することができました。42名いた仲間すべての出席はかないませんでしたが16名の参加がありました。さすがに36年の年月が経つと、皆さんそれなりに貫録ある中年になっておりました。

在学時代、だれが担任の渡辺先生に怒られたとか、美術の先生は極真空手を習ってたとか、話は尽きず、あっという間の3時間でした。当然その続きがあり大井町まで繰り出して同窓会の続きが行われ、さらに白濱君の「北越」足を延ばした方もおりました。

早いものであれから間もなく1年が過ぎようとしています。平成27年度の同窓会もお互いに呼びかけあって、少しでも多くの仲間に参加してもらいたいと思います。

さて、同窓生に中には、我々のようになかなか同期会が実施できないところがあると聞きます。そのような同窓生には、是非、毎年「母の日」に行われる同窓会のご利用をお勧めします。大崎高校は校舎改築により昔とはすっかり様変わりした。しかし、昔と変わらず、大井町線踏切脇南門の桜三本、正門わきのヒマラヤ杉1本は当時のままだあります。きっと、同窓生の皆さんを温かく迎えてくれることでしょう。

それでは皆さんのお越しを、5月10日（日）の同窓会でお待ちしております。

50年前の思い出

松田美代子（昭和39年度卒）

私は、39年度卒業生です。39年度卒業生は今年、卒業してから、50年と成ります。

私は3年間、利根川しげ子先生のクラスでした。卒業の際の謝恩会で、利根川先生は私に、お三味線を弾く様におっしゃいました。其の時私は、「母はおが、私は弾けません」と言い、先生と押し問答の末、母が弾き私が唄う事と成りました。本番では上がって仕舞い、音を外していると、「まっちゃん、頑張ってぇ」と声がして、その後無事に、歌う事が出来ました。その時に声を掛けて下さったのは、E組のMさんに違いないと私は思って居ます。

E組のMさんは、私に学校主催のスケート教室に誘ってくれて、手取り足取り教えるからと言われて行きましたが、直ぐにリンクの中央に連れて行かれ、其の時は酷いと思いましたが、お陰様で滑れる様に成りました。感謝しております。

又Mさんは、私の憧れのN君の所に連れて行って下さり、私はN君とフォークダンスを一緒に踊る事が出来ました。悲しい事に私の憧れのN君は、他界されたと知りました。

そしてF組のT君・K君・B組のA君・私の4人で一度、トランプをしましたね。T君優しい素敵な方でした。T君には私がN君の事で悩んで居ました時、嫌な顔も為さらずに、聞いて下さいました。本当に有難うございました。

E組のYさんは今も良く気遣って下さり、いつも感謝して居ます。

その後お会いして居ない方や、現在も連絡を取って居る友人の方々、私もようやく心も卒業出来て、同窓生と成りました。利根川しげ子先生に、お逢いしたいです。

ありがとうございました。

編集後記

◇はたして61号は「原稿が集まるのか？」依頼した原稿が白紙で戻る。3月下旬、焦る。4月に入り、1本、また1本と入ってきたが、迎えた4月11日夜の幹事会。「1面の原稿が全く入っていない。3面も半分空いているぅ。」「そういえばペーパージオラマ部がテレビに出たよ」と言う情報が入った。これで3面の4分の1が埋まった。ペーパージオラマ部がんばれ！

◇引き続き野球部の記事。前号で大々的にご紹介した野球部。発行後に森元繁さんから連絡があり、遠山さんと連絡が取りたいとのこと。球場でお会いすることができなかったようですが、後日連絡が取れたそうでホッとしています。

◇またまた朝日新聞に「梧桐会報」が取り上げられました。自分が編集した印刷物が新聞に取り上げられるのは、大変うれしいことです。次はあるのか？と期待するのは私だけか・・・

◇星野元校長先生「瑞宝小綬章を受章されました。梧桐会報にはしばしば星野先生が登場されますが、このような形で登場されるのは喜ばしいことです。「受章」なのか「受賞」なのか、編集者は悩まされました。ネットで調べたら、「受章」が正しいようです。勉強になりますね。

◇還暦同期会が盛大に開催されたという報告ができました。１２８名ですか、すごいですね。我々の代はまだ・・・もうすぐ還暦です。

◇4月15日0時20分、編集後記書き終えました。さぁ、印刷に回すか。

◇今年の同窓会は5月10日（日）です。今年も受付で待っていますよ！

（なべちゃん）